



令和3年1月30日(金)

認定こども園  
鳥取第四幼稚園  
ひよこ組担任

ぴよぴよだより No.10

1月31日(土)は、作品展です。ひよこ組は『ぞうさんのぼうし』をテーマに、立体制作を展示します。

制作遊びでは、これまで、クレヨン・絵の具・のり・シールなど、様々な素材と初めての出逢いを繰り返す中で、子ども達が楽しさや面白さを感じられることを大切にしてきました。

作品展に飾る作品が出来上がるまでの様子をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

## 『ぞうさんのぼうし』づくりに決まり

身の回りのことへの興味も高まり、戸外に遊びに行くことを伝えると自ら帽子を取って被る子ども達。帽子を被ると外に行けるという期待もあり、部屋で遊んでいてもいつも間にか…、気づけば帽子を取って被っている！という姿が見られるようになりました。子ども達、帽子が大好きなんです！

また、表現遊びの会でも『ぞうさんのぼうし』をテーマに表現し、たくさんの拍手をもらった子ども達。頭に両手を当てて、『ぼうし』を表現している姿がよく見られます。

絵本や日頃の生活の中で“ぞうさん”が出てきた時も、両手を頭に当て“ぼうし”的表現を見せてくれます。ぞうさんと言えば帽子、帽子と言えばぞうさんというひよこ組の子ども達の姿から、作品展では自分だけの『ぞうさんのぼうし』作りをすることに決まりました。



おおきなおおきなおぼうし♪

ぼうし♥

## 身边な素材に触れてみよう

### お花紙

色とりどりの花の紙の中には、柔らかいお花紙と少し硬いお花紙があり、自ら触って感触を確かめています。



制作をスタートする前に、身边にある色々な素材に触れて遊んでみました。“面白そう”“やってみたい”的気持ちが膨らむいいなと思います。

### スズランテープ・ビニール素材

シャカシャカとした感触も好きな子ども達。スズランテープやカラー・ポリなどのビニール素材にも触れてみました。



### 毛糸

ふわっとした感触の毛糸。持ちやすい太さや長さの毛糸を出してみました。



## お買い物ごっこ(好きな素材を集めよう)



好きな物を慎重に選んで…上手に入れてていきます。



素材の面白さを味わった後は、好きなものを鞄に入れてお買い物ごっこをしました。いつもままごと遊びの中でも、鞄を出すと、好きな物を入れて“いってきまーす！”と買い物ごっこが始まります。



入れている途中で、お花紙を、指先を使って細かく破り始める姿もありました。集中して細かい動作をしている姿に成長を感じます。

## もうすぐぼうしができるね

選んだ素材を土台につけて帽子を作ります。こちらが帽子の土台となる容器ですが、早速頭に被って帽子にしている子ども達。本当に帽子が大好きです。



## ぼうしが出来上がりま～す♪

帽子を作ることがよくイメージできている子ども達です。



ぼうしだ  
これから飾りをつけて素敵  
な帽子にするよ。



両面テープを剥がしたら、



飾りがついて素敵  
な帽子になったね。



ビニールを目に当てて  
見ると面白いよ！



両面テープの箇所に飾りをつけると剥がしたくなるのもこの時期の楽しみ…貼っては剥がしを繰り返して帽子が出来上がって行きました。



素材の感触が面白くて触って  
遊ぶと止まらない♪

作品展では帽子の横に可愛いぞうさんも  
登場しますのでお楽しみに♪

## シール遊び

作品の下にチチチシートが敷いてあります。子ども達がシール遊びをしたものです。以前からシールの遊びを少しずつ取り入れて楽しんできました。“シールを見て、指で剥がして貼る”という動作が初めは難しく、すぐ遊びから離れていたのですが、どんどん上手くなり、集中して遊ぶ時間が増え、もっとやりたいという意欲が高まってきました。

ひよこ組でよく遊んでいるシールのシートです。シールやビニールテープ、養生テープなど、剥がすとイラストが出るワクワク感いっぱいのシート。



剥がすと  
ラックが出て  
きた～！

作品展でも、シール遊びを展示してみよう。大きなシートだと、子ども達がのびのび楽しめるので、感触の面白さも感じられるチチチシートはどうかな?と取り入れてみました。

まずは、チチチシートで遊んでみよう～



これ、  
なに～?



チチチシートの興味が高まったところでシール貼りをスタートしてみました。すごい集中力！夢中になっているひよこ組さん！



動かない背中からも夢中になっている姿が伝わります。指先でつまんで上手にシールを剥がして貼り…手指の発達の成長を感じます。



## 作品展お待ちしています

作品展では、4月からの描画作品も1人1枚展示しております。描画制作では、絵の具やのりなど…初めて触れるものが多く、ほとんどのお子さんが初めは不安を感じて…絵の具を見ては緊張…、のりを触っては涙…でした。

初めは先生と一緒に、少しずつ慣れていました。“やってみると、あれ?楽しい”“面白い”“もっとやってみたい”と、制作をする経験を重ねていくうちに、どんどん心が動き、作ることが楽しみに変わっていく瞬間を見ることができました。友達が楽しそうにしている姿を見てやってみよう動き出す子もいました。現在は、制作をすることが分かると、早くやりたくて自らスマックを着て、自分の番を今か今かと待っている子ども達。描画一枚一枚を見ると、大きな成長を感じます。

これからも、感性豊かな子ども達に育ってくれることを願っています。作品展では、ぜひ、子ども達の可愛い作品をごゆっくりご覧ください。